

JSRの創立総会が 開催さる

1959年 ⇒ 1999年

日本運動用具小売商組合連合会

全運小連 から JSR へ

日本スポーツ用品協同組合連合会

1999年9月13日 ⇒ ∞

長年懸案であった連合会の法人化が、今ようやくまとまり、去る9月13日創立総会を開催することが出来ました。

思えば長い道のりでしたがこれも役員を始め組合員各位のご協力の賜と感謝申し上げます。ここに創立総会、及び祝賀会について略記させていただきます。

創立総会

日 時 1999年9月13日、11時より

場 所 上野精養軒・会議室

司 会 渡邊 健介（広島県理事長）

議 長 小関 和夫（山形県理事長）

発起人代表 辻本 昌孝（愛知県理事長）

議事

第1号議案より第14号議案まで創立に必要な各議案の内、役員選出について記させていただきます。

議長提案により指名推薦制を採用。

選考委員：服部昌三氏（委員長）、渡辺哲男氏、森健一氏、谷久人氏、上田善重氏

選考委員が別室にて協議し、理事14名、監事2名選出、総会で可決後、即、理事会が開催され下記の新役員が決定され、総会で発表された。



創立総会で議長の小関氏と上呈中の辻本発起人代表

JSR初年度役員一覧（敬称略）

顧 問 深谷 隆司、小野 清子
安部 純平

魚見 秀男、橋本 隆

理 事 長 辻本 昌孝

副理事長 谷 久人、石井 憲孝

小関 和夫、上田 善重

専務理事 渡邊 健介

理 事 小島 文雄、町田 宏遠

森 健一、服部 昌三

池田 信義、平岡 博

岩満 一臣、野中 敏治

監 事 小林 累照、清水 誠一

ここで新理事長辻本氏より所信表名がなされて、総会を終了した。



正副理事長と専務理事が壇上から挨拶
(右より)副理事長の谷氏、石井氏、小関氏、理事長の辻本氏、副理事長の上田氏、専務理事の渡辺氏

創立祝賀会の開催

日 時 平成11年9月13日13時より
場 所 上野精養軒にて

創立祝賀会は、協同組合として法人化している34組合を正会員、他の13組合を賛助会員として各都道府県の理事長を初めとして、来賓の通商産業省の宇田川様、大森様、全国中央会からは福永様、田上様、日本サッカー協会会長岡野様、全運団連名誉会長の鬼塚様、全国卸の渡辺副会長そして、スポーツ関連団体様、卸様、メーカー様に多数ご出席頂き盛り上げて頂きました。

創立祝賀会は13時の予定どおりに開会され、まず、国歌「君が代」斉唱の後、新理事長の辻本氏が挨拶に立った。辻本氏は先ずご来賓を初め参加者に対し、ご参加のお礼を述べ、組合の創立総会に至るまでの経過を説明した。

そして、長年全運小連の役員としてご活躍頂きました会長の魚見様、副会長の橋本様、成松様、平岡様に壇上へ上がって頂き、感謝状と記念品をお渡しした。



(上) 感謝状が辻本理事長から魚見会長へ

それに応じて魚見会長から、新しいJSRに対してエールのご挨拶を頂き、続いて全国中央会の福永様、日本サッカー協会会長、IOC委員の岡野俊一郎様、全運団連から名誉会長の鬼塚様に祝辞を頂き、全国卸の副会長の渡辺様にご挨拶と乾杯の音頭を取って頂きました。

新しいJSRにエールを贈る魚見会長(右)



スポーツは文化である。スポーツ振興のオルガナイザーたれと、激励下さった日本サッカー協会会長岡野俊一郎先生(左)

全運団連名誉会長(右)鬼塚様は「水を飲む時は井戸を掘った人のご苦勞に感謝の格言を引用されスポーツ業界をここまで引き上げてくれた先人に感謝をしましょう」と祝辞を下していました。



(左) 全国卸・副会長渡辺様の音頭で乾杯

第2回 理事会議事録

開催日時：平成10月13日（水）12:30～15:15

開催場所：浅草橋5-8-6 東京スポーツ会館 4階

理事総数：14人

定足数：7人

出席理事数：14人 内訳 本人出席11人

委任状出席3人

[理事長挨拶]

去る9月13日は、創立総会、第1回理事会、創立祝賀会と過密スケジュールでしたが、スムーズに進行しましたこと、皆様のご配慮、ご協力のお陰と感謝の意をあらわした。

[審議事項]

①JSRのロゴの決定、と「アイドリングSTOP」のステッカーの件

議長は、原案を専務理事に朗読させるとともに、その内容を説明させた後、これを議場に諮ったところ、満場一致で原案の通り可決決定した。

今後、JSRは封筒、パッチなどにこのロゴを使用し、ゆくことになり、商標も登録することを可決決定した。

ステッカーは11月中旬「JSRレポート」第10号に同封発送することとした。



日本スポーツ用品協同組合連合会

②委員会編成の件

議長は、原案を専務理事に朗読させると共に、その内容を説明させた後、これを議場に諮ったところ、満場異議なく下記原案のとおり、委員長と副委員長を可決決定した。

委員会の事業内容に付いては、継続協議することとした。

JSRの4委員会の名称と担当と仕事の内容

委員会名 委員長名	副委員長名	仕事の内容
会員増強 ・総務委員会 石井委員長 (東京)	岩満副委員長 (宮崎) 森副委員長 (神奈川)	サッカーくじ ダイオキシンので ない買い物袋 会員増強と名簿作成
JSEC・公正 取引委員会 谷委員長 (福岡)	野中副委員長 (大阪) 平岡副委員長 (山口)	国体や総体などの 折衝指導 公取協との折衝指導
国際・環境 ・広報委員会 小関委員長 (山形)	町田副委員長 (埼玉) 小島副委員長 (宮城)	海外のメンバーと の交流 環境問題 JSRレポートの発行
情報・活性化 委員会 上田委員長 (滋賀)	服部副委員長 (岐阜) 池田副委員長 (福井)	スポーツネット21 (POS化)と 情報システム スポーツ業界の活性 化とインターネット

[協議事項]

1) 各種規定の制定に付いて

(表彰・旅費・慶弔規定)

充分協議されたので協議事項から審議事項として移項したらどうかと動議が出され、満場異議無く了承された。

審議事項として3つの規定を議場に諮ったところ原案どうり満場異議無く可決決定し、平成11年10月13日をもって施行することとした。

JSR表彰規程に付いて

第一条 「表彰の資格」

- (a) 各県の役員を10年以上勤めた人
- (b) 日本スポーツ用品協同組合連合会の理事経験者
- (c) 全日本運動用具小売商組合連合会の役員及び理事経験者。

以上の内、一つ以上の条件を満たした方。

第二条 「表彰の決定」

各県の推薦を経た後、理事会において決定する。

第三条「記念品の贈呈」

日本スポーツ用品協同組合連合会は、表彰者に対して、感謝状並びに記念品の贈呈を行なう。

第四条「人数の制限」

各県より推薦は、原則として一名とする。

JSR旅費規程について

第一条「基本原則」

旅費は、発着空港、発着JR駅を計算して支給する。それ以外の諸交通費、食事代については、補助金として、一日一人3,000円を支給する。

第二条「適用範囲」

- (a) 日本スポーツ用品協同組合連合会の正副理事長会議、理事会へ出席の理事
- (b) 総会、各ブロック大会及びスポーツ業界の会議に日本スポーツ用品協同組合連合会を代表して出席する理事。
- (c) その他、正副理事長会議で認められた出張に対する旅費。

第三条「事務局員の出張」

業務遂行のため事務局員が出張を命ぜられた場合は、上記の旅費規程に従い、旅費を支給する。

JSR慶弔規程について

第一条「基本原則」

各組合員である協同組合又は協同組合連合会の組合員が慶事、弔事、その他の災害にあわれた時に、下記のように行なう。

第二条

連絡があった場合、弔電を打つこととする。また、花輪・香典等については正副理事長会議で協議のうえ、決定する。

第三条「慶弔の金額」

理事本人の慶弔に関しては、30,000円の祝い金、香典を贈る。

第四条「関係先への儀礼」

卸・メーカー等の関係先の慶弔については、その都度、正副理事長会議に一任することとする。但し、1件当たり最高50,000円以内とする。

第五条

組合員は上記に対し一切の答礼を行なわないものとする。

以上三つの規程は、平成11年10月13日(第2回理事会)より施行する。

2) 事業の推進について(初年度における事業計画及び収支予算)

- (1) 事業計画(事業の推進に当たっては各委員会が分担)
 - (a) 総務・会員増強委員会
(石井委員長、岩満副委員長・森副委員長)
共同購買事業(買物袋)、「サッカーくじ」、PL保険(12月から新規募集するので、各県に協力を要請)
 - (b) 情報・活性化委員会
(上田委員長、服部副委員長、池田副委員長)
POSレジ及び後継者問題等。
 - (c) 国際・環境・広報委員会
(小関委員長、町田副委員長、小島副委員長)
アイドリングストップのステッカー作成、世界のスポーツ用品小売商の実態調査等を担当。
 - (d) JSEC、公正取引委員会
(谷委員長、野中副委員長、平岡副委員長)
 - (e) 学校教育問題は専務理事が担当。
尚、年2回(2月と9月)に全国理事長会議を開催の予定。

3) 6ブロック制について

議長は、原案を専務理事に朗読させるとともに、その内容を説明させた後、これを議場に諮り協議した。

《新ブロックの名称》

北海道・東北ブロック

関東甲信越ブロック

中部ブロック

近畿ブロック

中国・四国ブロック

九州ブロック

4) ファクトリー・アウトレットについて

議長は、報告事項の資料を朗読させるとともに、その内容を説明させた。野中理事より大阪の状況が詳細に報告された。その後、森理事からも神奈川県状況説明があった。理事長はファクトリーアウトレットに出店しているメーカーに対して、最大限の自粛を求めてゆきたいと発言し、今後も継続して協議事項にすることとした。

5) アシックスの通信販売の件

各理事より、それぞれの対応の仕方が報告され、協議した。

6) 日本スポーツ券(株)の株式の件

議長より、全運小連は現在日本スポーツ券(株)の株券を74株(額面5万円)所有している旨報告があった。しかし、通産省、全国中央会からの指導により、JSRは投資事業は認められない為、JSRはその株券を所有できない。

よって、全運小連が所有したままでは清算できないので、如何にするべきか理事会で協議した。結果、理事の都道府県の組合か、理事個人で出来る範囲で購入し、スムーズに清算できる方向で協力するということになった。

まず福井県の池田理事から購入の意思表示を頂いた。他の理事にも購入して頂ける時点で事務局に連絡を取り、事務局にて取りまとめることとした。

[報告事項]

1) 理事長からの報告

(a) 法人化申請の状況

10月12日に中央会と通産省へ申請書類を提出した旨報告した。1ヶ月ほどの審査で認可が下りる予定とのこと。

(b) 東北ブロック大会参加の報告

10月5日、秋田市にて開催され、今回ブロックの定款も決まった。

JSRの新組織では、北海道と東北がまわって一つのブロックとなる為、北海道の和歌理事長がオブザーバー出席された。

(c) 「サッカーくじ」について

今まで、JTBに黒沢氏のところに訪問していましたが、今回初めて大和銀行の石崎氏に面談した。今の時点で、ハードのところが決まっていないう、金額の算定が出来ず、参加店への説明も遅れている様子。しかし、前回電話アンケートにより600軒ほどの販売の希望がありましたが、大丈夫とのことでした。条件が整いましたら説明会をして、今度はその条件でやるか、やらないかを決めて頂くことになります。

(d) 「デビット・カード」について

「デビットカード」は来年の3月から日本の全銀行のキャッシュカードで、皆さんの店頭で買い物が出来るようになりますが、手数料がクレジットカードの半分くらい、現金の回収が1週間以内です。

これの導入をJSRとしていち早く進めたいと思っています。

このデビットカードの会社をやっているのがJTB(日本交通公社)であり、サッカーくじは大和銀行と信金組合連合会と博報堂とJTBのネットワークで獲得できたのであります。

(e) S研について

(スポーツ用品情報システム研究会)

小さなスポーツ店でも、自社バーコードを付けないで、メーカーのバーコードを使って、10万円以下のソフトで、50万円以下のハードで、POSレジを使って、「見える経営」、「利益の出る経営」ができるよう、推進頂く

ようをお願いしております。

業界スケジュール

2) 業界スケジュール

別紙参照

この情報を見た上で、各ブロックの総会、各都道府県の総会の日程を決めるよう、又、決めたら事務局へ即、連絡をするよう要望があった。

3) 池田理事からの報告

福井県はこの厳しい状況の中でゼビオが出店申請してきた。ゼビオの計画は1, 150坪で販売計画は13億8000万円であった。

組合として反対行動をとり、売場面積は20%カットで750坪となった。

又、当理事会の翌日10月14日に臨時総会を開催、その為の資料として、組合員に対してアンケート調査を行った。

そのアンケートの内容は、A) 業界の動向、B) 販売姿勢、C) 仕入の見直し、D) 商品力強化、E) 利益率・販売効率アップ、F) 社員教育・後継者

と言うように大変緻密なものでありました。

* 次回理事会の開催日、及び場所決定

日時：平成11年12月9日(木)

場所：東京スポーツ会館 4階会議室

平成11年

11/11	北九州スポーツ用品協同組合 創立50周年記念／小倉ターミナルホテル
11/11	平成11年度・近畿ブロック協議会定時総会 主管：和歌山県スポーツ用品組合 場所：和歌山ターミナルホテル
11/24	平成11年度・九州ブロック協議会定時総会 主管：長崎県運動具商組合連合会 場所：ルークプラザホテル(長崎市)
12/9	全運小連・常務理事会 J S R・理事会 東京スポーツ会館 4階会議室

平成12年

1/6	全運団連・平成12年度新春記者会見 三井アーバンホテル(弁天町)
1/6	第38回・関西スポーツ業界新年挨拶会 三井アーバンホテル(弁天町) 06-577-1111
1/7	第34回・新春年賀の会 上野精養軒 03-3821-2181
1/8	新春賀詞交換会 名古屋厚生年金会館
2/8・9	ワールド・スポーツ・ショー NAGOYA 吹上ホール
2/8	愛媛県スポーツ用品小売商組合 創立50周年記念
2/16・17	第93回スポーツビジネスフェア大阪 場所：インテックス大阪
2/22(案)	JSEC・連絡会議(案)
2/22(案)	全運小連・清算総会(案)
2/22(案)	JSR・全国理事長会議(案)
2/23~25	スポーツ ジャパン2000春 場所：東京ビッグサイト
2/23・24	ザ・トウキョウスportsショー2000 場所：東京ビッグサイト
2/23~25	ザ・スノーボードジャパン2000 場所：東京ビッグサイト
2/24~26	ジャパングolfフェア 場所：東京ビッグサイト
8/1~24	平成12年度 高校総体 岐阜県

JSRの団体「PL保険」契約更新の時期が参りました

重要

全運小連の団体の「PL保険」として、はじめて大東京火災海上保険(株)と契約しましたのが、平成7年12月でした。これで4年間経過しようとしております。1年目、2年目は幸いにして、あまり大きな事故はありませんでした。

しかし、4年目に入り、大きな事故も出てきてお

ります。わずかな保険料で、ショップにとって大きな安心をつかんでおいてください。

今年2~300万円の補償の事故が2件ありました。

地域により、個店契約の組合と、県一括契約の組合とがありますが、契約を忘れないよう気をつけましょう。

“アイドリング STOP”

ステッカーを車に貼って、アピールしましょう

国際・環境・広報委員長 小関 和夫

去る2月、横浜での全運小連総会に於て全会一致で可決して頂いたアイドリング・ストップのキャンペーン用ステッカーがようやく出来上がり、JSRリポートと一緒に皆様のもとにお届け致します。

何卒趣旨をご理解頂き、積極的なご参加をお願い致します。

①大きい三角形のステッカーを、車のリアウインドウに貼ってください。

②小さい三角形のステッカーは、皆さんの運転席に近い所、例えばハンドルの中央に貼って下さい。ドライバー自ら、進んで実践しようとの意識を喚起して頂くためのものです。

ここで、なぜこのキャンペーンを始めたのか、その経緯について記させていただきます。

今、世界的に関心を持たれている地球環境問題を列挙してみます時、先ず第一に地球温暖化の問題が挙げられることは皆様ご存知の通りであります。その他にも、オゾン層の破壊、酸性雨、熱帯樹林の乱伐による減少、砂漠化、湿地帯の破壊、海洋の汚染、発展途上国の公害問題、野生生物の減少、有害廃棄物の処理等々があると思います。

私はこの中で、私共にもっとも身近な問題である、地球温暖化の防止について一つ提言させて頂きたいと思ったのです。

この問題は、地球上に住む全ての人々が、今すぐに取り組まなければならない重大な問題であります。

1997年12月の地球温暖化防止の京都会議に於て、CO₂削減目標が決定されたにもかかわらず、日本政府は国民に向けて何の呼びかけもしておりません。

私は、スポーツ用品小売世界会議に出席のため、



冬のミュンヘンに3年連続訪問させて頂き、ドイツ国民のCO₂削減のための真摯な取組みを知り、同じ地球人として、直ちに行動をおこすべきことを痛感させられました。

昨年2月にミュンヘンを訪問した時、私は通算8回タクシーを利用致しましたが、どのタクシーのドライバーも、零下15度以下にもなる早朝に、エンジンを止めて、厚い防寒衣を着て客待ちをしており、客を乗せてから、始動して走り出すのです。彼等はアイドリングが、CO₂発生元凶であることをよく知っており、それを実行していたのです。私は、日本のタクシーのドライバーと比較してみた時、啞然たる思いを禁じ得なかったのであります。

私たちスポーツ用品産業にたずさわる者は、日頃から、健康問題を論じ、教育問題をテーマとして活動し、自分たちの職業を聖業として誇りを持って推進していくからには、まず他に先駆けてこの地球温暖化防止問題に、正面から取り組んでいくべきであろうと思います。今こそ、業界挙げて取組み、日本全国に賛同の渦を巻き起こしてまいろうではありませんか。

具体的な実践目標としては、

①アイドリング・ストップのステッカーを作成し、スポーツ業界三層に所属する全車輛のリアウインドウに貼って頂き、アイドリング・ストップを呼びかける。

②ダンボール箱のデザインを統一化することにより再使用（リユース）問題に取り組む。

この問題に付いては全運団連で委員会を作ることが決まっている。

③過剰包装の自粛。

④包装紙、買い物袋の素材へのエコロジカルな配慮。

この4点は、私達はその気に成れば出来ることばかりであります。

先ず第一弾として、アイドリング・STOPのステッカーによるキャンペーンの展開をお願いいたしたいのであります。

同封の5枚で足りない方は、事務局の下記のファクスまでご連絡ください。在庫のある範囲で、お送り致します。

日本スポーツ用品協同組合連合会（JSR）

FAX. **03(3865)7704**

「サッカーくじ」の販売は スポーツショップの手に

皆さんのところへの報告が遅れてしまい申し訳ありません。8月11日の一般紙に報道されましたが、朝日新聞だけが、販売場所としてスポーツ店を書いてくれていました。

「サッカーくじ」の販売は一部、来年（2000年）の後半に試験的に販売するようですが、本格的に販売するのは、再来年（2001年）の春からです。販売店への条件はまだ、ハードの部分が決まっていない為、料金的な部分で説明会が遅れているようです。

今のところ、スポーツ店では現金でなく、すべてデビットカード（キャッシュカード）で販売する方向でお願いしております。そうすれば、1回目に未成年者でない確認をした方のキャッシュカードは二度目からチェック無しで購入して頂けます。また、JSRとしても集金の手間が省けて悩みが解決致しました。情報が入りましたらもっと早くお伝えします。



宛名シールチェック



名簿を新しく作ります。

この「JSRレポート」10号が

皆様に送られてきた封筒の宛名シールが、その内容のまま、新しい名簿になります。

一旦、名簿を作りますと、簡単には修正できません。

今一度、送られてきた封筒を見てください。

代表者のお名前は今のままで良いですか？

住所は変わっていませんか？

郵便番号は良いですか？

もし宛名シールに変更箇所がありましたら、封筒を解体して、変更箇所をマークして書き直してそのままFAXしてください。

白い紙に書きなおさないで、

封筒に書いて、そのままFAXしてください。

日本スポーツ用品協同組合連合会（JSR）

FAX. **03(3865)7704**

編集後記

全運小連の「JSRレポート」もやっとで10号になりました。2号、3号の辺で発行できなくなるのではないかと心配しながらスタート致しましたが、はじめてみますと、皆様にご報告しなければ成らないことが沢山あり、ここまで続けることが出来ました。長年の懸案でありました法人化もやっとで出来ました。

新しい組織は「日本スポーツ用品協同組合連合会」です。略称は「JSR」です。次からは新しい担当の方が編集して下さることになっています。この機関紙もマイナーチェンジをして、継続をして行きたい、と相談しております。タイトルは「JSRリポート」と「レ」と「リ」を変える予定です。せっかく10号まで来たのだから。号数は継続しようと思っております。読者の方からのご意見、リポート、感想など入れればもっと楽しめる機関誌になるのではないかと思います。親しまれる「JSRリポート」にする為に宜しくご参加願います!!!

(M.T.)